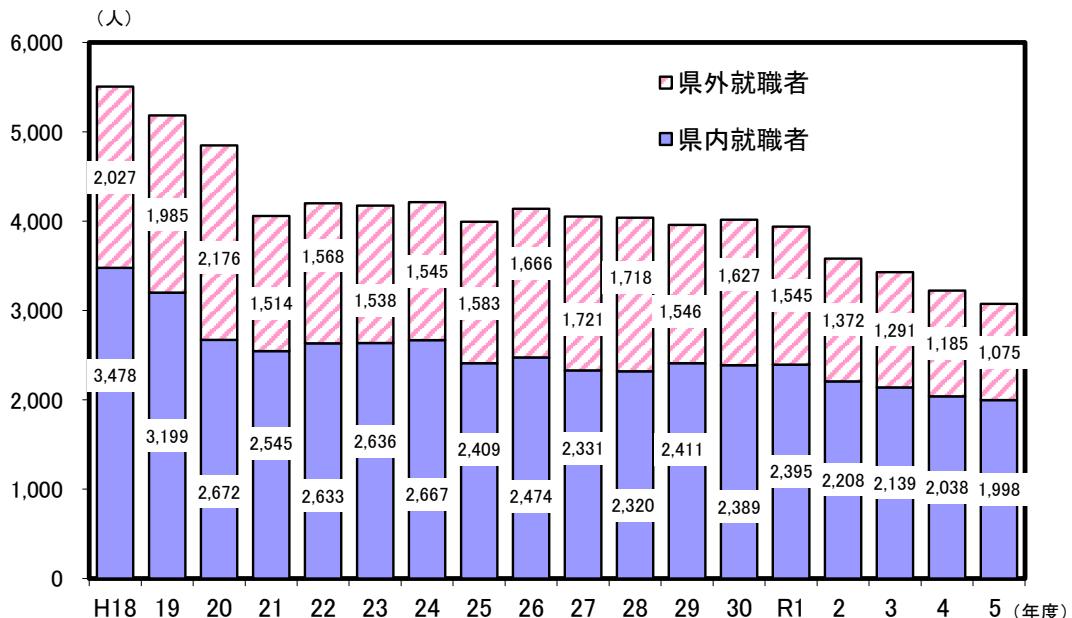


熊本県の高校卒業者の就職状況の推移



解説

【概要】

令和6年3月の県内高等学校卒業者13,401人のうち3,073人が就職したが、このうち35.0%にあたる1,075人が県外に就職した。

就職先地方別で最も多かったのが福岡県で283人、次いで東京都の180人、愛知県の172人で、この3都県で県外就職者数の半数以上を占めた。

就職者数の推移をみると、平成21年度まで減少を続けていたが、その後、横ばい傾向であったものの令和元年度から再び減少に転じている。

○県外への就業・通学割合

他県へ通勤・通学をする者の数÷夜間人口のうち通勤・通学する人口×100

○高卒者県外就職率

高卒者県外就職者数÷高卒者就職者総数×100

○夜間人口

県内に常住する人口（人が寝泊まりする場所での人口）

○県外からの就業・通学割合

昼間人口のうち他県に常住する者の数÷昼間人口×100

○昼間人口

県内常住人口ー県外への通勤・通学者+県外からの通勤・通学者（※夜間勤務、夜間通学については、便宜上昼間人口とみなし、含んでいる。また買い物客などの非定常的な移動については含んでいない。）

○昼夜間人口比率

夜間人口100人当たりの昼間人口の割合

資料出所	調査期日	調査周期
*1、*3、*4 「国勢調査」 総務省統計局 *2 「学校基本調査」 文部科学省	令和2年10月1日 令和6年5月1日	5年 毎年